

親園地区市政懇談会

日時：令和元年7月9日（火）午前9時30分～正午
会場：親園農村環境改善センター



懇談テーマⅠ 『高齢者対策・医療・福祉について』

平均寿命と健康寿命のギャップを縮め安心安全な地域社会の構築について、支援の必要な高齢者をできるだけ少なくし健康寿命を延ばすこと及び高齢者に地域社会の担い手として活躍の場を与えることを目的に、行政の指導で全ての自治会に高齢者部会を設けることを提案したい。

【回答】

現在、市では体に不調が起こる前の、元気な方や、少しだけ弱ってきた方が、いかに健康を維持し介護予防に努めるかということに力を入れて進めようとしております。

地域の中で役割をもってご活躍いただくことが、自らの生きがいつくりや健康維持につながり、また地域にとっても活力や支え合いをもたらすことにつながります。

「高齢者部会の設置」につきましては、既に、野崎東町自治会、薄葉第2団地自治会で行っていることとありますが、各自治会が各々独立して独自の運営・活動をしておりますので、市から「高齢者部会」の設置を指導することは難しいと考えております。各自治会の方々が集まる場所や見守り隊の会議、生活支援体制整備事業の協議体の中で、野崎東町自治会や薄葉第2団地自治会の取り組みを紹介することは可能ですので、検討してまいります。

市では、毎年高齢者ほほえみセンターに出向いて講話を行い、その中で「高齢期のフレイル予防」について重点的に取り組んでいただくようお話ししております。

毎日の活動や交流の中に、介護予防につながる要素はふんだんにあると思いますので、地域のプロである皆さまに、これらを見つけ、上手につなげていただくことが、地域全体の健康増進や活性化につながると考えております。

これからも地域の活動や話し合いに大いに参加していただき、地域をけん引してくださいますようお願いいたします。

市といたしましても、地域の皆様が自主的な活動をしたいときに、「できる」環境をつくるのが「地域づくり」と考えております。地域の皆様のご意見やご提案をいただきながら、一緒に考えさせていただきたいと思っております。

懇談テーマⅡ 『その他について』

大田原グリーンパークにおいて大きな大会が開催された場合、既設の駐車場数では不足しており、宇田川ニュータウン周辺の道路両サイド及び県道170号の宇田川川毛バス停に至るまで路上駐車されている。急な豪雨があった際の雨を避ける場所もないため、早急な改善をお願いしたい。

【回答】

本市は、2022年、令和4年に「いちご一会とちぎ国体」において、ソフトボール競技会場地として内定しており、大田原グリーンパークは少年女子競技が予定されております。

今後、国体に向けた施設整備の一つとして、駐車場の増設を行う予定であり、隣接する西側の農地、約1万平方メートルを取得し、300台程度の増設を計画しております。令和4年夏までには整備を完了させたいと考えております。

また、雨を避ける場所につきましては、待機中のバスや乗用車を想定しており、西側駐車場の増設により、雨天時、グラウンドからの移動距離や時間の短縮が図られると考えております。

駐車場増設後の施設管理の中で、シェルター等の必要性については検証してまいります。

懇談テーマⅢ 『その他について』

親園地内には、幾つかの改修された一級河川（中小河川）が流れており、近年局地的な大雨が頻繁に起き河川の氾濫が危惧される。

河川愛護の中で草刈等を行っているが、障害物（草や樹木の繁茂）や土砂の堆積撤去まではできていない。計画的な堆積土砂の撤去、草木の除去を市から県に要望できないか。

特に不動川については、県による草木の除去が30年くらい行われていない。

【回答】

市内の一級河川につきましては、管理者であります栃木県大田原土木事務所に、流下断面の確保のため、浚渫等を要望しております。

今後の計画を確認しましたところ、百村川と念仏川の合流部、加茂内川と念仏川、百村川と深川、それぞれの合流部につきまして、堆積土砂の撤去に要する経費の予算を要求していくとの事でありましたので、ご理解くださるようお願いいたします。

不動川につきましても、合わせて今後要望活動を行ってまいります。

懇談会でいただいた主なご意見等（一部抜粋）

親園中学校が佐久山中学校と統合して、スクールバス等が動いているが、近辺の進入道路がかなり狭い状況のため、親園中学校近辺の道路の拡張を急いでいただきたい。

【回答】

親園中学校の前の道路は何年も市政懇談会でテーマに出ており、以前は圃場整備で土地の問題を整理していただきたいということがあったかと思いますが、圃場整備が難しい状況と思われるため、来年度からの10年間の地籍調査の計画の中に親園中学校の前を候補地に入れる検討を進めております。

地籍調査ができましたら、その後は道路事業に着手していきたいと思いますが、何分にも道路は整備するのに相当時間がかかりますので、現在のところは、現道で補修が必要などころをできるだけ早く補修し、現道を良好に走れるような状況を保ちながら、整備できるときをお待ちいただくような形で進めさせていただきたいと思っております。

喜連川の道の駅は地の利を活かし水辺の公園や温泉があり、イベントも多く、活性化されていて活き活きしている。道の駅那須与一の郷の活性化について伺いたい。

【回答】

与一伝承館で毎週のような企画、又は月を通しての企画、そういったものと合わせて、道の駅は道の

駅としてのイベントを行っていくことによって集客力を高め、フリーマーケット等もうまく活用して、来訪者を増やしていくよう進めていきたいと思ひます。

マイバグの取り組みについて、今後どのようにしていくのか考えを伺ひたい。

【回答】

市では、毎年度、エコバグを持参した買物の啓発や標語、エコバグコンテストの募集等を行っておりますが、今後、新たにレジ袋の削減、マイバグ持参を広報紙等で呼びかけていこうと考えております。